

こども  
子供のインターネットバイブル  
あんない  
案内いたします

アブラハムへの  
かみ  
神さまのやくそく



ぶん  
文: Edward Hughes  
え  
絵: Byron Unger; Lazarus

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick  
しゅつばんしゃ  
出版社: M. Maillot; Tammy S.

60 話の第 4 話

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

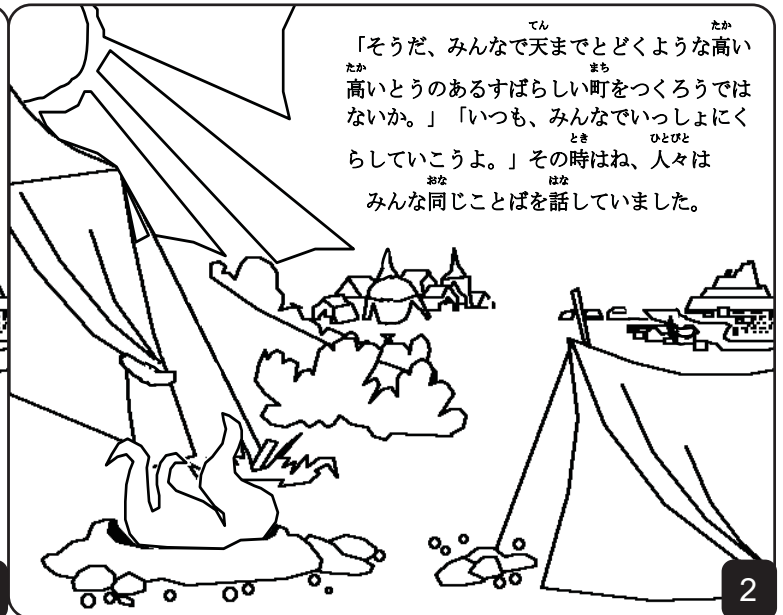
まよ せ たにん う せ せ せ せ  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

大こうずいのあと、  
なが とき  
いつのまにか長い時がすぎました。  
けいかく おも  
人々は、ある計画を思いつきましたよ。

「そうだ、みんなで天までとどくような高い  
たか たか  
高いところのあるすばらしい町をつくらうでは  
ないか。」「いつも、みんなでいっしょにく  
とき ひとひと  
らしていこうよ。」その時はね、人々は  
おな はな  
みんな同じことばを話していました。



かみ ひとびと かみ  
神さまは、人々が神さまのつくられた世界中のいろいろな  
す  
ところに住んでほしいなって思われました。



3

そこで、また何かとくべつなことをなさいましたよ。とつぜん、  
はな だ  
人々が、それぞれにちがうことばを、話し出したのです。  
かみ  
神さまは、みんなに新しいことばを、  
あた  
あた  
与えられたのです。



4

おな はな ひと  
同じことばを話す人たちは、いっしょになって、  
ち  
ほかの地へうつっていきました。だってね、たぶんみんなは、  
おたがいに何を話しているかわからない人たちと  
な  
いっしょにいるのが、こわくなってきたのでしょね。



5

このようにして、神さまは、人々がいろいろな国にわかれて住めるようにな  
かみ ひとびと く  
さいました。人々が去っていった町は、バベルと呼ばれました。  
ひとびと き まち よ  
それはね、「こんらん」という意味なのですよ。



6

なんねん  
何年かたちました。  
カルデアのウルとい  
かみ  
うところで、神さまは、  
おとこ  
アブラムというなまえの男  
はな  
の人に話しかけられました。  
「アブラム、この地を出て  
ち  
行きなさい。そして私が、  
わたし  
あなたに示  
しめ



7

「はい、わかりました。」アブラムは、すぐしたがいました。神さまは、  
かみ  
かれをカナンにつれていかれました。アブラムのつまサライと、  
おいのロトもいっしょでしたよ。



8

カナンでは、アブラムもロトも、  
とてもゆたかにくらすようになりました。  
かれらは、たくさんの牛の群れをかっけていました。  
でもね、カナンにはそんなにたくさんの動物たち  
に食べさせる十分な草がなかったのです。



9

ある時、ロトの牛をせわする人たちと、アブラムの牛をせわする人たちが、  
けんかをしてしまいました。「もうかれらが、  
けんかをしないようにしなければ・・・。」

そう思ったアブラムは、「わたしたちは、  
別れようではないか。さあ、ロト、  
あなたが先にすきな方の土地をえら  
んでいいだよ。」と言いました。



10

ロトは、町や村に青々とした草がおおい  
しげっているとても良い土地を、えらびました。  
その土地はほんとうにすばらしく見えました。  
でも、じつは、  
その町はひどいところでした。  
悪がはびこっていたのです。



11

ロトがいなくなってから、神さまは、  
またアブラムに話しかけられました。  
「アブラム、私は、カナンのすべての地を、  
あなたとあなたの子供たちにあげよう！」



12

いつまでもね。」でも、  
アブラムとサライには、  
子供がいなかったのです。神さまは、  
いったいどうやって、そんな大きなやくそくを、  
まもることができるのでしょうか。



13



神さまからの三人のみつかが、  
アブラムとサライのところに来てきましたよ。みつかいたちは、  
言いました。「サライ、あなたにもうすぐ赤ちゃんが、  
生まれるでしょう。」

14



サライはわらって、神さまからのことばを、しんじませんでした。  
だって、サライは、もう九十さいになっていたのですから。

15



神さまは、またこう言われました。「アブラムは、  
これからアブラハム（賛美される父）と呼ばれるだろう。  
サライはサラ（王女）と呼ばれるだろう。」

16



神さまは、またアブラハムに、  
「悪がはびこっている二つの町、  
ソドムとゴモラをほろぼして  
しまおう。」と言われました。  
でも、アブラハムのおい  
ロトとかれの家族は、  
ここソドムに住んでいたのです。

17



いよいよ町がほろぼされるとき、  
ロトは、神さまからのちゆうこ  
くを信じ、ソドムの町を去りました。  
けれども、ロトのむすめの夫たちは、  
ソドムの町から去ろうとしませんでした。  
ああ、なんてかなしい  
ことでしょう。かれらは、  
神さまからのことばをしん  
じなかったのですから。

18



ただ、ロトとかれの二人のむすめたちだけ  
安全なところに、たどりつくことができました。  
ものすごい火とイオウが、悪でいっぱい  
の町を、すっぽろのみこんでしま  
いました。

19



かなしいことに、ロトの妻は、  
助かりませんでした。

20



なぜって、神さまのちゆうこくを聞かないで、走っているのちゆうでうしろをふりかえってしまっただけです。ロトの妻は、塩のはしらになってしまったのです。



21

主なる神さまは、アブラハムとサラのやくそくを、きちんとまもられましたよ。そうです。かれらは、とても年をとっていたのですが、子どもが生まれました。神さまが言われていたようにね。イサクが生まれたとき、アブラハムとサラは、どんなにかうれしかったことでしょう。



22

たぶん、このときアブラハムは、神さまが前にアブラハムに言われたこと、かれと子どもたちにカナンをえいきゆうにくださるというやくそくを、思い出したでしょう。



23

神さまは、そのやくそくもまた、まもってくださいでしょう。そう、神さまはね、やくそくしたことは、いつもちゃんとまもってくださいなのですよ。



24

アブラハムへの神さまのやくそく

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 11 章 -21 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいました。そして、イエスが十字架で亡くされることによって、私たちの罪をとってくださったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へもどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あなたといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3 : 16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！